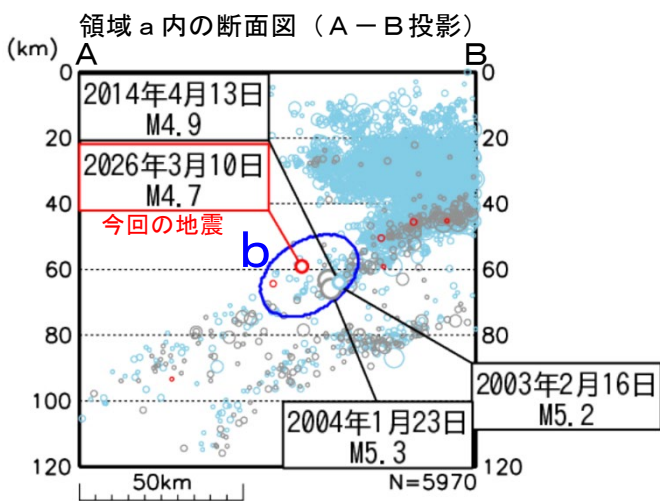
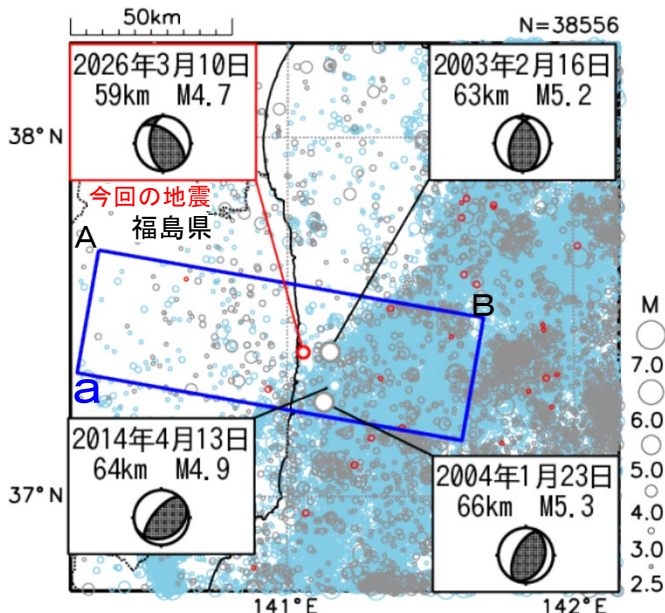


3月10日 福島県沖の地震

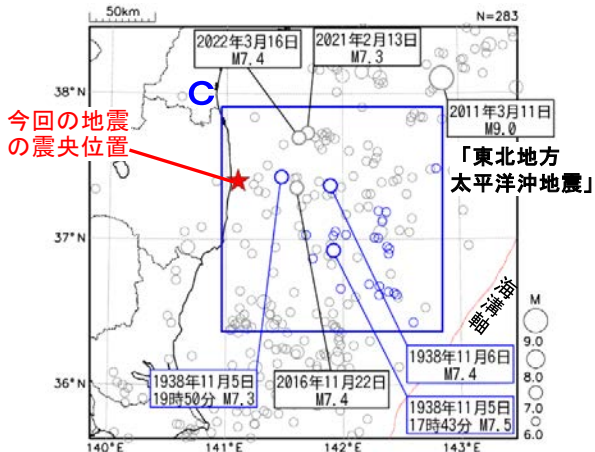
震央分布図
(1997年10月1日～2026年3月31日、
深さ0～120km、 $M \geq 2.5$)

○1997年10月1日～2011年2月28日
○2011年3月1日～2026年2月28日 ○2026年3月1日以降
図中の発震機構はCMT解を示す



震央分布図
(1919年1月1日～2026年3月31日、
深さ0～100km、 $M \geq 6.0$)

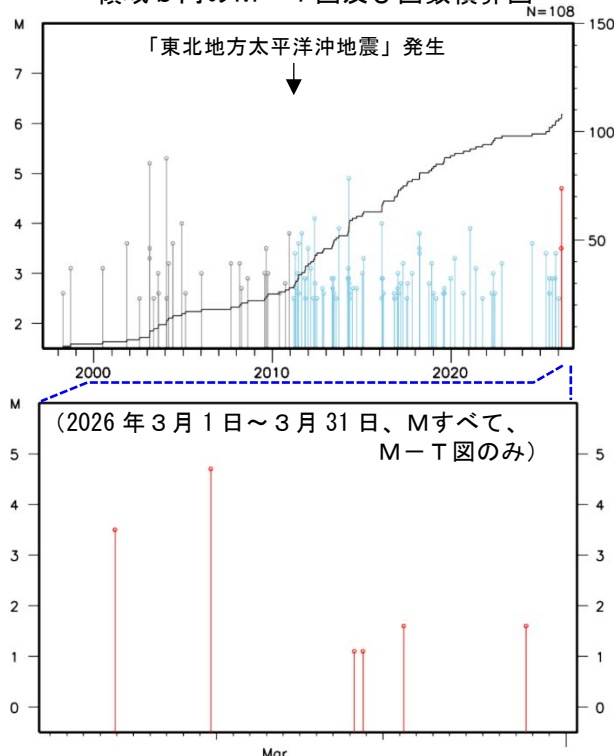
○1938年11月1日～1938年11月30日 ○左記以外の期間



2026年3月10日15時28分に福島県沖の深さ59kmでM4.7の地震（最大震度4）が発生した。この地震は、太平洋プレート内部で発生した。発震機構（CMT解）は東北東-西南西方向に圧力軸を持つ逆断層型である。

1997年10月以降の活動をみると、今回の地震の震源付近（領域b）は「平成23年（2011年）東北地方太平洋沖地震」（以下、「東北地方太平洋沖地震」）以降、地震活動が活発となっており、M4.0以上の地震が時々発生している。

領域b内のM-T図及び回数積算図



1919年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺（領域c）ではM7.0以上の地震が時々発生している。1938年11月5日17時43分にはM7.5の地震（最大震度5）が発生し、宮城県花巻で113cm（全振幅）の津波を観測した。この地震後約1か月間にわたりM6.0以上の地震が増加するなど、地震活動が活発となった。これらの地震により、死者1人、負傷者9人、住家全壊4棟、半壊29棟などの被害が生じた（被害は「日本被害地震総覧」による）。

領域c内のM-T図

